

一般社団法人 岐阜県臨床検査技師会
平成 27 年度 第 5 回理事会 議事録

開催日時：平成 27 年 12 月 18 日（金） 18:30～

出席者：兼子、諏訪、浅野、藤井、青木、帖佐、森、松浦、関、大西、鈴木満、和田、
近藤、多和田、臼井、森本、鈴木敦、渡辺

欠席者：柴、松浦、山岸、高崎、可児、太田

議長：兼子

議事録：藤井

【連絡事項】

1 日臨技より

兼子会長より。

・政治資金パーティー「宮島よしふみ君を励ます会」が東京であり、パーティー券を岐阜県検査技師会として一口（20000 円）で購入したとの報告があった。

・一般社団法人である岐臨技が、政治資金パーティー券を購入すること、政党支部への寄付は政治資金規正法上、違法ではない。また、後援会への寄付は違法となると報告があった。

・今後、この様な支出が発生することがあると考えられ、岐臨技として、どのくらいまで支出するか検討し、会員 800 名で一人当たり 100 円、年間 8 万円までとし、理事の承認を得た。

・森本理事より「宮島よしふみ君を励ます会」に出席したところ、日衛協が力を入れている。日臨技ももう少し力を入れなければとの意見があった。

2 北陸大学医療保健学部医療技術学科より

庶務部長より。

・北陸大学より、医療保健学部医療技術学科(仮称)の設置申請にあたり、賛同書送付の要請があった。理事にメールにて意見を聞き、特に反対の意見が無かったため、賛同書を提出したとの報告があった。

3 日本臨床検査薬協会より

庶務部長より。

・プロモーション地域委員会開催の案内があり、理事に対し出席の要請を行った。

日時：平成 28 年 1 月 25 日（月） 会場：名古屋ダイヤビルテック 2 号館 4F 第 243 会議室

4 岐阜臨技より

岐阜臨技事務所が日技連岐阜県支部事務所を兼ねる件について

- ・兼子会長より、政治資金規正法上、政治団体の事務所について特に規制は無い。公務員が政治活動の中心となることは公務員法上、違法性を問われる可能性があるが、事務所に入出入りする程度ではその可能性は無いと説明あり。
- ・岐阜臨技事務所を日技連岐阜県支部事務所として使用する事を承認した。

庶務部長より、平成 28 年度各部の予算案を 12 月 24 日（木）までに提出要請を行った。

庶務部長より、コスタ岐阜県庁前管理組合第 23 期通常総会が、平成 27 年 12 月 25 日（金）に開催されるとの報告があった。

5 地区報告

岐阜地区より

平成 27 年度第 36 回岐阜市民健康まつりの報告があった。

- ・開催日時：平成 27 年 11 月 8 日（日）、41 名のスタッフで実施。
- ・参加人数は、尿検査 220 名、血管年齢 650 名、尿中ピロリ菌 105 名、頸動脈超音波検査 168 名、臨床検査コーナー参加者合計 1143 名となった。
- ・頸動脈超音波検査は 80 名を予定していたが、経験豊富なスタッフにより時間短縮でき、168 名に実施でき、今後も積極的に参加して欲しいとの報告があった。
- ・尿中ピロリ抗体検査で陽性となった方が、医療機関を受診し、胃カメラで陰性となったと苦情があった。尿中ピロリ抗体検査は中止としたいとの報告があった。
- ・兼子会長より、後日行われた「検査と健康展」で、臨床検査専門医会の副会長東條医師より、この様な場（健康イベント）で、診断に直結するような事柄を実施することはふさわしくない、と指摘されたとの報告があり、他の検査項目も含め今後の課題となった。

西濃地区より

平成 27 年度大垣市民の健康広場の報告があった。

- ・日時：平成 27 年 11 月 18 日（日）、来場者 1,900 名、検査コーナーには 235 名来場。スタッフ 11 名で行った。年を重ねる毎に、スムーズな運営ができるようになっている。
- ・決算は、血管年齢測定機器 2 台リース料 32,400 円、骨密度測定機器リース料 22,550 円、人件費 9,000 円、交通費 4,200 円、食卓費 11,000 円、合計 79,150 円と報告があった。

関理事より、平成 27 年度西濃地区総会を、平成 28 年 2 月 25 日（木）に大垣徳州会病院で行うとの報告があった。また、平成 28 年度春季拡大研修会の実行委員会を 6 月 5 日もしくは、6 月 19 日に行うとの報告があった。

中濃地区より

平成 27 年度会秋季拡大研修会について

- ・実行委員会を平成 27 年 11 月 6 日（金）に開催、最終打ち合わせを行ったとの報告があった。
- ・平成 27 年度秋季拡大研修会は、参加人数は 77 名、会員 65 名、入会申請中 1 名、賛助会員 9 名、学生 11 名、市民 2 名であった。
- ・決算は、収入が、参加費 75 名分 75,000 円、広告協賛 12 社 120,000 円、合計 195,000 円。支出は、印刷製本費 75,000 円、講師謝礼金 3 名 144,781 円、講師交通費 3 名 25,000 円、会議日当費 25,000 円、会議交通費 46,600 円、会議食卓費 5,691 円、研修会食卓費 82,216 円、収支合計 202,107 円の赤字との報告があった。

第 54 回岐阜県医学検査学会について

- ・第 1 回実行委員会を秋季拡大研修会後に行ったとの報告があった。
- ・教育講演として岐阜医療科学大学の山岡一清先生、市民公開講座として岐阜県総合医療センター循環器内科 高度先端医療センター長荒井正純先生、一般演題 20 題、ランチョンセミナーをシスメックス株式会社、富士レビオ株式会社を予定しているとの報告があった。
- ・予算案は、収入が、参加費 140 名分 140,000 円、広告協賛 15 社 150,000 円。支出は、抄録費 200,000 円、印刷費 80,000 円、振込手数料 200 円、文具 3,000 円、講師料 2 名 80,000 円、講師交通費 5,000 円、会議費 56,000 円、講師お茶菓子費 1,500 円との報告があった。
- ・演題登録は、現在 5 題の登録があるとの報告があった。

飛騨地区より

平成 27 年度 第 26 回高山市市民健康まつりにについて

- ・決算は、血管年齢測定器 2 台 64,800 円、骨密度測定器 1 台 22,550 円、人件費 14 名 14,000 円、弁当代 18 名 9,000 円、お茶代 18 名 2,337 円、振込手数料 864 円、合計 125,051 円との報告があった。

東濃地区より

第 21 回やさか福祉健康まつりにについて

- ・平成 27 年 10 月 25 日（日）に、坂下総合体育館で行われ、骨密度 140 名を測定したとの報告があった。

6 学術部より

平成 27 年度・第 2 回部門長会議が平成 27 年 11 月 27 日（金）に行われ、内容についての報告があった。

- ・次年度の新人サポート研修会 5/15 もしくは 5/29 に、岐阜医療科学大学で開催予定。
- ・次年度研修会計画案について協議した。春季拡大研修会は西濃地区で一般・病理細胞部門が「大腸・内視鏡」をテーマで担当する。
- ・秋季拡大研修会は、東濃地区で微生物・遺伝子研究班が担当する。平成 29 年度は血液・輸血研究班を予定している。
- ・今後の市民公開講座に関した、「健康」や「検査」に関わる題材を学術部門で講師選定をすとの報告があった。
- ・次年度の中部圏支部医学検査学会（石川）の日程が 12 月 10 日、11 日に変更されたとの報告があった。
- ・日臨技学術奨励賞・特別奨励賞に関しては、岐臨技会員には該当無しとの報告があった。
- ・遺伝子部門の石郷部門長から、次年度以降について他部門から部門長を選定し、業務を引き継ぎたいとの要請があり、新部門長を検討する。
- ・次年度より新部長となるため、平成 28 年度、平成 29 年度の予定行事案内を行った。
- ・平成 28 年度は、春季拡大研修会が西濃地区、秋季拡大研修会が東濃地区、県学会が東濃地区。
- ・平成 29 年度は、春季拡大研修会が岐阜地区、秋季拡大研修会が飛騨地区、県学会が岐阜地区との報告があった。
- ・臨床生理部門研修会を平成 28 年 2 月 6 日（土）に東海中央病院で行う。講師として県立多治見病院中央放射線部 北島秀登先生を招聘。講師料 1 万円、交通費 3 千円で承認された。

7 精度管理事業部より

- ・ $\pm 3SD$ 以上を二次サーベイ対象とするところを、 $\pm 2SD$ 以上の施設に案内をしたと報告があった。
- ・総括集を作成中で、12 月 25 日に発送予定。参加証と成績表を同封すとの報告があった。
- ・報告会は平成 28 年 1 月 31 日に東海中央病院で行い、特別講演を多和田部長が行うとの報告があった。
- ・日臨技から各施設長宛に、共用基準範囲の案内が出されたとの報告があった。岐阜県医師会からも来年、共用基準範囲の案内が出される可能性があるとの報告があった。

8 組織調査部より。

- ・平成 27 年度全国「検査と健康展」が、11 月 29 日（日）にアクアホールで実務委員 41 名で行われた。
- ・内容は、検査技師の仕事紹介、医師による健康相談、健康チェック。
- ・医師は臨床検査医会から派遣していただいた。
- ・来場者数は 307 名。超音波での頸動脈エコー、血液・一般・病理等の標本を顕微鏡鏡検体験。擬以尿による尿検査、パネル展示（メタボとは・輸血と血液型・検査技師の仕事紹介・検査技師学校紹介）、健康チェック（血管年齢・骨密度）などをおこなった。
- ・将来の検査技師を確保することが一番の目的であったが、若人の来場が少なかった。
- ・決算は、支出合計 516,549 円、日臨技助成金が 500,000 円、結果、岐臨技助成金が 16,549 円となった。
- ・パネルなどを添付する衝立が 30 枚で 117,720 円、人件費が 42 名で 156,424 円と高額で、今後の課題となった。
- ・今回の検査と健康展の反省を踏まえ、次回のためのタイムスケジュールの説明があつが、開催時期をいつにするかが問題となる。
- ・企画内容も重要であり、部門により参加人数に差があるとの報告があつた。
- ・学校訪問を行ったが効果には疑問がある。
- ・岐臨技の会員への啓蒙活動も課題であり、療所の開設を行うかも後の課題となる。
- ・地域の方に来てもらうための啓発活動と、パネルの運搬が大変であつたと報告があつた。
- ・今後は組織調査が行うのか、各地区で行うのか決めて欲しいとの意見があつた。
- ・兼子会長より、日臨技宮島会長からは、臨床検査技師の存在をアピールすることが「検査と健康展」の意義であると説明されており、検査技師自身による講演会なども企画するよう指導されたとの報告があつた。
- ・臨時診療所を開設したほうが、安心できるとの会長の意見があつた。
- ・次年度以降は、組織調査が調整し、開催会場の地区に実務を行っていただきたいと要請があつた。

9 広報宣伝部より

岐臨技のホームページの事務所メールアドレスが間違っていたため修正をしたとの報告があつた。

12 月は広報誌を発行せず、1 月に発行すると報告があつた。

10 法人対応部より

- ・岐阜県医療整備課に公益目的支出計画の申請を、6月15日に1回目の登録をし、その後3回の修正後、11月16日に登録が終了したとの報告があった。
- ・次年度は新理事になるため、登記をしなければならないとの報告があった。
- ・公益目的支出はしばらくは、毎年行わなくてはならない。10年程度を予定。
- ・地区総会で平成28年度の理事を決めていただくが、任期2年、移動があってもそのまま理事を続けていただける方、退職しても続けられる方を選出して下さいとの要請があった。
- ・平成28年度定時総会終了後、会長以下5役を選出する。総会の議事録を作成し、署名人の署名・押印。すみやかに法務局に提出をする。
- ・電子申請する書類を監事に見てもらい、見ましたと言う書面も必要と医療整備課より指摘されたとの報告があった。
- ・来年度より法人対応部を渉外部にするとの報告があった。


11 会計部より

現在中間決算書を作成中との報告があった。

12 その他

臼井理事より、来年度、再来年度の役員選についての説明があった。

- ・役員選挙の告示し、立候補募る。告示後3週間以上経過後、地区総会を開き役員候補を選任する。立候補がなければ、役員推薦委員会により推薦を行う。役員候補を選挙管理委員会に提出し、会員に議決権行使書を送付。事務所に返送していただき、選挙管理委員により開票する。5月の理事会と、6月の総会で承認するとの報告があった。
- ・兼子会長より、会長、副会長、会計、庶務は、地区理事より選出されるため、選出に当たって配慮の要請があった。その他の部長は、立候補もしくは、調整になるとの報告があった。

議長 兼子 徹 

議事録署名人 _____ 印

議事録署名人 渡辺新司 